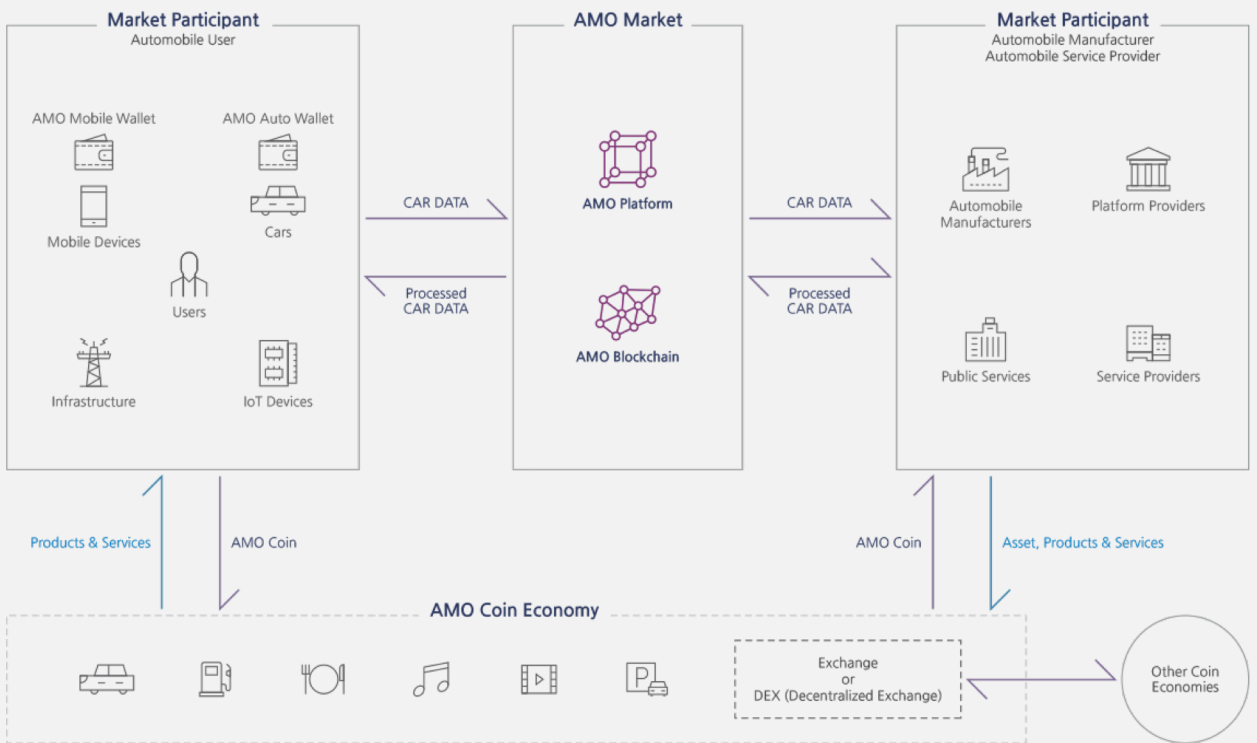


AMO Blockchain

Blockchain for the CAR DATA Market

AMO Vision

AMOは、次世代自動車環境から生まれるすべての情報を効率的に共有するためのインフラです。ユーザや自動車メーカー、関連サービス・プロバイダーなどの間に情報共有システムの構築を実現することで、もう特定企業が情報を独占することではなく、公共の資産になり、より価値のあるサービスが生まれ出せます。



Problems (As-is)

情報収集および管理インフラの不足

自動車は様々なモノと繋がれ、多量の情報を収集・処理する知能型プラットフォームに進化しています。特に、コネクティッド・カー、電気自動車、スマート・カーといった大きな潮流により、もはや自動車は、新たな情報のハブになっています。要するに、路辺基地局(RSU : Road Side Unit)のような外部のモノと通信するデータ(V2X Data)、車両自体のデータ(In-Car Data)、多様な車両基盤アプリケーションの利用データ(User Data)が自動車に集結されます。このような情報が持つ価値は計り知れず、しかしながら、ユーザにとっては自己情報コントロール権がなく、自動車メーカーと関連サービス・プロバイダーにとっては信頼性のある精製されたデータを得る方法がありません。保険会社による事故履歴管理や自動車メーカーまたは整備業者による一部車両内部情報の収集程度にしかならないのが実情です。

ICO事業者の専門性不足によるエコシステムの持続可能性の欠如

自動車は数万個の部品と1億行以上のソフトウェア・コードで構成されている複雑な有機体です。そのため、ブロックチェーン技術をベースに成り立つエコシステムの開発および構築は、運用安定性およびセキュリティの側面から決して容易なことではありません。エコシステムは、そのビジョンが現実化できこそ持続可能になるため、自動車産業分野におけるICOは、自動車と交通インフラ関連の技術、センシティブな情報の取扱、セキュリティの確保など総合的観点からのシステムの開発能力が求められます。しかしながら、現実、ICOは、実現能力や実績の評価はされないまま、開発計画の青写真に過ぎず、ブロックチェーン技術の本来の目指すべき理想とは離れ、単なる資金調達の手段となっているケースが多くあります。

Solutions (To-be)

自動車利用情報の正確な収集と共有

AMOは自動車利用に関するすべてのデータをユーザ選択により収集し、ブロックチェーンに保存し共有します。V2X Data、In-Car Data、User Dataはハードウェア型のAMO Data Collector™、V2X Device、Car Embedded Software、In-Vehicle Applicationを介し、車両からブロックチェーンのネットワークに安全に転送されます。自動車が新規登録されてから廃車されるまでの運転傾向、事故履歴、サービス購入歴などのすべての情報をフォーマット化し記録するため、国籍、車種に関わらずインフラの構築が可能です。

AMOインフラ上のすべての参加者は、車両利用に関する情報を共有することでコインを獲得できます。共有された情報は、車両整備や中古車売買などのサービスレベルの向上に役立ち、IoT環境において車両を基盤とする様々なサービスを生み出すことができます。ユーザ、自動車メーカー、関連サービス・プロバイダーの皆が共に利益を得られる仕組みは、インフラに参加するメンバーが増えるにつれ、より強固になります。

ICO事業者の実績および技術力から証明できる持続性

当社は、セキュリティ分野において20年以上培ってきたノウハウおよび技術の下、AMOインフラの実現のために、実績とその価値を生み出して参りました。この分野では、次世代自動車がIoT環境をベースとした一つのプラットフォームとして動作することとなるため、IoT環境でベスト・パフォーマンスを出すための力量が問われます。ICO事業者は、自動車および交通インフラにおける深い理解とブロックチェーン技術を活用した開発の実績があることが信頼に直結するポイントです。

当社は、自動車と交通インフラのセキュリティに精通しているベンダーです。2007年から韓国政府および自動車メーカーと共同で協調型高度道路交通システム(C-ITS)のパイロット・プロジェクトにおいて、コネクティッドカー・セキュリティソリューションのAutoCrypt®(アウトクリプト)でセキュリティを実現しました。尚、韓国のセジョン市、ヨジュ市、ファソン市で無人自動車団地(K-City)の構築や、ソウル市、チェジュ島、デグ市でのC-ITSのプロジェクトにも携わっています。

自動車とインテリジェント・デバイス間の安定的なインフラの構築および運用を行うためには、IoT環境におけるノウハウが必須です。スマート・カー、スマート・ファクトリー、スマート・エネルギー、スマート・ホームのセキュリティの実現に活用されるAuthentiCA®(オーセンティカ)は、IoT環境に最適化されているサービスとして、当社の開発能力を証明しています。

ブロックチェーン技術を活用したPenta CryptoWallet™(ペンタ・クリプトウォレット)および、車両と通信しながらデータを収集するAMO Data Collector™は既に開発を完了しました。開発計画段階の概念を超越し、検証済みの技術と実績、そして実現のためのノウハウを兼ね備えた専門企業として、ロードマップを実現します。

AMO Team

AMOチームは自動車セキュリティとブロックチェーンの技術における長年のノウハウと実力の下、将来のための新たなビジョンを提言して参ります。

- | | | |
|--|--|---|
| <p>SangGyoo SIM
 • CEO, AMO Labs
 • Chief Software Architect & Cryptographer
 • Creator of AutoCrypt
 • Ph.D in Electrical Engineering, POSTECH</p> | <p>Daniel ES KIM
 • Chief Strategy Officer, AMO Labs
 • Creator of D'Amo
 • B.S. in Physics, POSTECH</p> | <p>SungKyoong CHUNG
 • Head of R&D, AMO Labs
 • Creator of Penta CryptoWallet
 • G&Rock Information Founder, SK Telecom
 • M.S. in Electrical Engineering, POSTECH</p> |
| <p>KiHo JOO
 • Head of Automobile & Software Engineering
 • Ph.D in Materials Science and Engineering, Seoul National University</p> | <p>DS KIM
 • CTO, AMO Labs
 • Cloudbric Co-Founder
 • XBrain Founding Member & Advisor
 • M.S. in Electrical Engineering, POSTECH</p> | <p>Jaeson YOO
 • Security Evangelist & Head of Biz Dev., AMO Labs
 • B.A., Occidental College</p> |
| <p>Niyikiza AIMABLE
 • Software Engineering Specialist
 • B.S. in Electrical Engineering, KAIST</p> | <p>Esther JEOHN
 • Communications Director
 • B.A., Duke University</p> | <p>Jeiff KIM
 • Head of Business Development
 • rSketch Founder, LG Electronics
 • M.S., Korea University</p> |
| <p>GH PAK
 • Head of Marketing & Communications
 • B.F.A., Korea National University of Arts</p> | <p>Anna AMINOFF
 • Marketing Manager
 • B.A., Yonsei University</p> | |

Roadmap

- 2018.05** ● Public Sale/トークン発行
- 2018.3Q** ● AMO Mobile Wallet v1 リリース (AMOトークン転送)
● AMO CA v1 リリース (Beta版)
- 2019.1Q** ● テストネットローンチ (AMO Blockchain ベータローンチ)
● AMO Data Collector リリース
● AMO Mobile Wallet v2 リリース (Data Collectorとの連動)
● AMO CA v2 リリース
● CAR DATA Open Specifications リリース
- 2019.2Q** ● AMO Auto Wallet v1 リリース
● AMO Mobile Wallet v3 リリース (Auto Wallet/テストネットとの連動)
● AMO Foundation 設立
- 2019.3Q** ● メインネットローンチ (AMO Blockchain v1 リリース)
● AMO SDK v1 リリース
● AMO CA v3 リリース
● AMO Asia Expo 開催
- 2020.1Q** ● AMO Auto Wallet v2 リリース(メインネットとの連動)
● AMO SDK v2 リリース
● AMO Wallet 決済対応
- 2020.3Q** ● AMO Client for Service Provider v1 リリース(AMO Data Manager, GUI for SDK)
- 2020.4Q** ● AMO Blockchain v2 リリース
● AMO World Expo 開催
- 2021.2Q** ● AMO Blockchain v3 リリース

Awards

- | | | | | | | | |
|---|---|------------------------------------|-------------------------|--|--------------------------------------|--------------------|--|
| | | | | | | | |
| Asian Cyber Security Vendor of the Year | The first and only CCEAL4 certified WAF | No.1 WAF Vendor in the APAC region | ICSA Labs Certified WAF | Recognized on the Gartner WAF Magic Quadrant | SC Magazine Europe Best SME Solution | PCI-DSS Compliance | Hot Company in Web Application Security for 2016 |